

平成 30 年 3 月 13 日

各 位

会社名 株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

新生銀行グループのグループ統合顧客データベース「YUI Platform」の構築について
～個人のお客さまの真のニーズの把握とより精度の高い与信提供のためのプラットフォームを
平成 30 年 7 月を目途に活用開始～

当行は、新生銀行グループの個人のお客さまの真のニーズの把握とより精度の高い与信提供のため、グループ各社の顧客データを一元管理するグループ統合顧客データベース「YUI Platform」※(読み方「ユイ プラットフォーム」)を構築いたします。セカンドサイト株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 加藤 良太郎、以下「セカンドサイト」と)と共同で開発するもので、当行とグループ会社の株式会社アプラス(東京都千代田区、代表取締役社長 渡部 晃、以下「アプラス」、新生フィナンシャル株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 鳥越 宏行、以下「新生フィナンシャル」)の 3 社にて平成 30 年 7 月を目途に利用を開始します。

1. 本件実施の目的

当行では、第三次中期経営計画に基づき、銀行、証券、信託に加え、信販・割賦、リース、無担保ローンなどの金融サービスを提供するさまざまなグループ会社の機能について、既存の業種の枠組みにとらわれず、お客さまの真のニーズにお応えする商品・サービスを提供することを目指しています。本件はそのための基盤として、商品・サービスに関するお客さまのニーズや信用力をより適切に把握するため、機械学習モデルなどの人工知能(AI、Artificial Intelligence)による予測に焦点を当てグループ横断のデータ活用基盤を構築するもので、まず、コンシューマーファイナンス業務を対象に取り組みます。将来的には、グループで蓄積したデータ・モデルをもとに個人事業者や小規模事業者などに対する法人向け与信へ活用や、匿名加工されたデータを活用した異業種を含めたグループ外の企業との提携も検討してまいります。

2. YUI Platform の概要

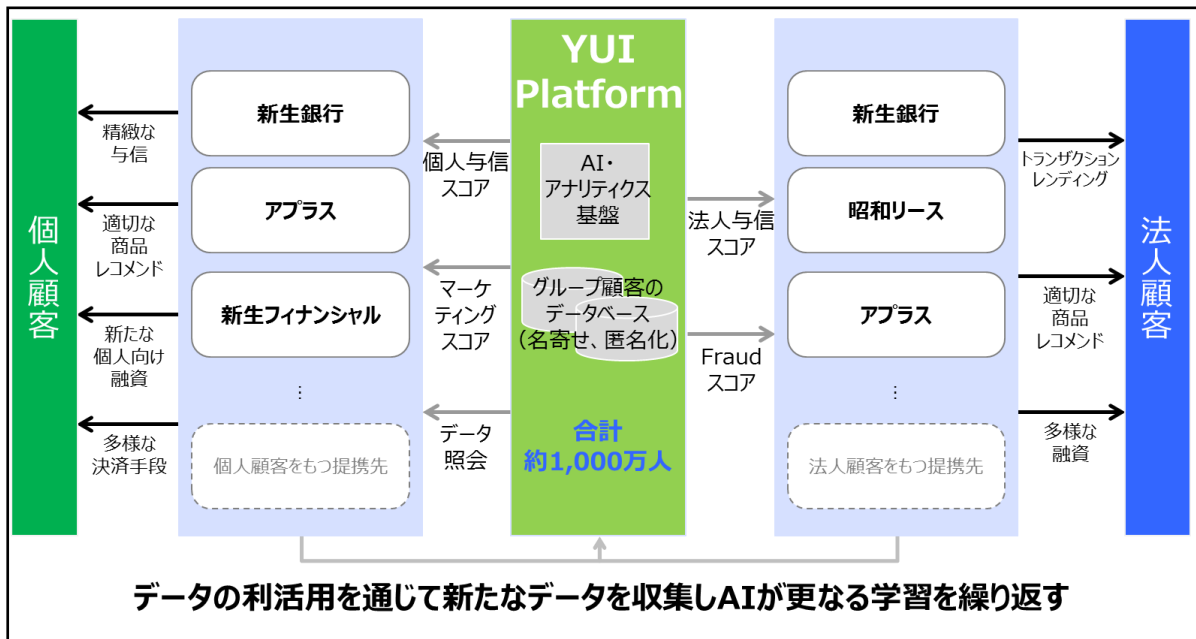
YUI Platform は、グループの統合顧客データベースとそのデータを分析、活用するための人工知能基盤、アナリティクス基盤、BI(Business Intelligence)ツールなどで構成し、グループの個人のお客さまに関する属性情報、勘定取引情報、行動履歴やウェブサイトのログなどの情報に加え、各種の政府統計や人口動態に関する情報などのオープンデータを蓄積・分析します。グループ各社の顧客データの一元管理により、グループ会社の法人格を超えたデータの分析や名寄せによる顧客情報の充実を実現するとともに、機械学習モデルなどの高度なデータ活用を推進します。このため、平成 30 年 2 月には、当行、アプラス、新生フィナンシャルなどのグループ会社各社において、お客さまの個人情報を利用するための枠組みを整備いたしました。セカンドサイトは、ディープラーニングや機械学習モデルの構築に加え、YUI Platform のデータを活用して先進的な AI・アナリティクスの研究開発を行い、アナリティクスサービスの開発・強化を行っていきます。

YUI Platform の活用により、例えばお客さまが新生銀行の住宅ローンをお申し込みされた際に、ご提供いただいた情報をもとにグループ会社で提供するクレジットカードやカードローンなどに対するニーズ予測や審査も行うことなども可能になります。YUI Platform の本格活用により、お客さまに対してグループ一体で付加価値の高い商品やサービスの提供を目指してまいります。

※YUI Platform “empower Your User Interface”

日本語の「結い」には、互いに助け合って共に事を行う、相互扶助の意味があります。「YUI Platform」には、グループ各社がデータを持ち寄り、共同利用することで、お客さまの真のニーズに応えるという、新生銀行グループが目指す姿が込められています。グループ各社が「YUI(結い)」に参画することで、グループ会社間の結び付きを強め、さらにグループの商品・サービスとお客さまとの結び付きを強化していくことを目指しています。

【YUI Platformの活用イメージ】



以上